

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和2年7月22日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	梅田スカイビルにおける、ホテル冷水系統および高層冷水系統送水ポンプの変揚程変流量制御装置導入による排出削減事業
承認番号	JCDM-PJKC0903
排出削減事業者名	積水ハウス梅田オペレーション株式会社
排出削減共同実施事業者名	環境経済株式会社
事業実施場所	梅田スカイビル (大阪市北区大淀中1丁目1番)
事業の概要	既設の送水ポンプ（インバーターによる圧力一定制御）に、変揚程変流量制御装置を追加導入し、部分負荷時の送水ポンプ回転数を下げることによって電力使用量を削減し、エネルギー効率を改善する。
排出削減量の計画	2011年度：129tCO ₂ /年 2012年度：164tCO ₂ /年 2013年度：191tCO ₂ /年 2014年度：179tCO ₂ /年 2015年度：171tCO ₂ /年 2016年度：180tCO ₂ /年 2017年度：173tCO ₂ /年 2018年度：161tCO ₂ /年 2019年度：54tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1,402tCO ₂)
認証期間	開始日 2011年8月1日 終了予定日 2019年7月31日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年

	7月31日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2019年7月31日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,067 tCO ₂ （2013年4月1日～2019年7月31日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 エコノパイロットの自動計測による電力使用量、稼働時間のモニタリングデータ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 事業実施前積算熱量データ及び積算熱量から計算された事業実施前電力使用量、エコノパイロットの自動計測による事業実施後電力使用量、稼働時間のモニタリングデータ及び事業者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性

	<p>エコノパイロットの自動計測による事業実施後電力使用量、稼働時間のモニタリングデータ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギーデータが電子媒体で適切に記録・保存されており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.6により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果をエコノパイロットの自動計測による事業実施後電力使用量、稼働時間のモニタリングデータと集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は2013年4月1日から2019年7月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年7月31日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は原油換算 525.4kl、熱量換算 20,361GJであることを確認した。

以上